

みずののぶもと さごう

水野信元の最期

(緒川)

戦国時代、日本の国がたくさんの侍の大将

によって、おさめられ、いつも隣りと戦争をし

たり、手を結んだりして、自分たちの勢力を大

きくしようと、必死になっていた時代のこと

す。緒川の地に城を築いて、知多半島北部に

勢力かためた水野氏は、四代目の忠政の時に、

刈谷に大きな城をつくってそこを本城と定め、

西三河まで力を伸ばしました。

さらに、五代目の信元は、織田信長と手を結

んで、知多半島南部にまで勢力を広げていきま

した。まず、阿久比の新海氏を攻め落とし、坂

部城の久松俊勝に妹於大を再婚させました。

また、岩滑城主中山勝時に妹をとつがせ、

成岩城主榎本了円を攻め滅ぼしました。そし

て、富貴・布土の城を落とし、河和近くまで攻め

寄せましたが、河和城主戸田孫八郎と和睦を結

んで、自分の娘を嫁にやりました。

その後も、信元は、三河一向一揆の戦いで家

康を助け、さらに、信長について、姉川の戦い

(一五七〇)、長嶋一向一揆の戦い(一五七四)

ながしの たたか
長篠の戦い（一五七五）などにも参加し、信長
たいへんしんらい
から大変信頼されていました。

このように、水野家は、信元の代がいちばん
みずのけ のぶもと だい
栄え、特に大きな勢力を誇った時代でした。
さか とく おお せいりよく ほこ じだい

ところが、天正三年（一五七五）十一月、信
てんしょう ねん がつ のぶ
なが たけだがた たしょう あきやまのぶとも まも ひがしみの いま
長が、武田方の大将、秋山信友の守る東美濃（今
ぎふけんとうぶ いわむらじょう かこ こうげき
の岐阜県東部）の岩村城を囲んで攻撃したとき、
のぶもと おな おだがた たいしょう さくまのぶもり
信元と同じ織田方の大将である佐久間信盛が、
のぶなが くち
信長につげ口をしました。

「殿、水野信元は、殿にむほんを企てました
と の みずののぶもと と の くわだ
ぞ。」

「なに、信元が、信元がどうしたというんじや。」
のぶもと のぶもと



「はい、信元は、殿が岩村城を攻撃なさつてい
のぶもと と の いわむらじょう こうげき
る最中、岩村城に食糧を届けさせていま
さいちゆう いわむらじょう しょくりょう とれ
す。」

「なんだと、信元がさようなことを……………」
のぶもと

気の短い信長は、さつそく使者を刈谷城に送
つて事実を調べさせました。むほんなどど、

信元にとって全く身に覚えのないことであり

ましたが、ただ、ちょうど織田軍が岩村城を攻
撃していたころ、商人が来て、領内から米と塩
を買い求めにいったことがわかりました。

「その時の商人は、岩村城からのご用商人だ
つたのか。それは、うかつだった。」

しかし、それも、信元が知らずに行った取り
引きであつて、決して信長に対してむほんの心
があつたわけではありません。そのことを説明

させようと、織田氏の使いといつしよに、水野家
からの使いの者を信長のもとへ行かせました。

ところが、途中で両方の使者が酒に酔つてけ
んかをし、二人とも死んでしまいました。そう
とは知らない信長は、帰らぬ使者にすっかり腹
をたて、

「使いの者は、信元の手の方に殺された。これ
で、信元のむほんは明らかじゃ、すぐに信元を
殺せ。」

と、同盟を結んでいた岡崎城の家康に対し、信
元を討つように命じました。



いえやす のぶもと みかわいつこういっき たたか
 家康にとって信元は、三河一向一揆の戦いの
 おんじん ははおだい かた あに
 恩人でありませし、母於大の方の兄であり、伯
 じ あ なや のぶなが
 父に当たります。さんざん悩みましたが、信長
 めい
 の命にそむくことはできず、しかたなく、母於大

さいこん おつと さかべじょう ひさまつとしかつ
 の再婚した夫である、坂部城の久松俊勝にた
 のぶもと おかさき よ よ
 のんで、信元を岡崎まで呼び寄せました。そし
 のぶもと だいじゆじ つ けらい めい
 て、信元が大樹寺に着いたところを家来に命じ
 う
 て討たせてしまいました。天正三年（一五七五）
 がつ
 十二月のことであります。
 のぶもと し みずのし も かりやじょう
 信元が死ぬと、水野氏が持っていた刈谷城も
 おがわじょう さくま しはいか うつ ぶんめい ねん
 緒川城も佐久間の支配下に移り、文明七年（一
 みずのさだもり きす ひやくねんかんつづ
 四七五）、水野貞守が築いてから、百年間続い
 おがわじょう はいじょう
 た緒川城は、ついに廃城となりました。その
 ご みずののぶもと さくまのぶもり いし
 後、水野信元をおとし入れた佐久間信盛も、石
 やまほんがんじ たたか のち のぶなが こうやさん お
 山本願寺の戦いの後、信長によって高野山へ追



▲ おがわじょうし
緒川城址

い
や
ら
れ
ま
し
た
。
そ
し
て
、
天
下
統
一
を
目
前
に
し
た
織
田
信
長
も
、
天
正
十
年
（
一
五
八
二
）
、
本
能
寺
の
変
で
家
来
の
明
智
光
秀
に
殺
さ
れ
た
の
で
す
。